

厚木市立小・中学校の適正規模・適正配置の取組に関する

アンケート調査 報告書

【荻野地区(荻野小学校・鳶尾小学校・上荻野小学校関係)】

令和5年3月

厚木市教育委員会

## 目次

### 第1章 調査の概要

1. 調査の目的	1
2. 調査方法	1
3. 回答率	1

### 第2章 アンケート回答

#### 1. 回答者属性

(1) 児童の保護者	3
(2) 未就学児の保護者	3
(3) 地区住民	3

#### 2. 設問 ※[ ]内は各設問における回答対象

(1) 地区の子どもを取り巻く環境(児童・生徒数の減少傾向) [児童・未就学児の保護者、地区住民]	4
(2) 方針で定めている適正規模の範囲 [児童・未就学児の保護者]	4
(3) 設問(2)で「適切」「おおむね適切」と回答した理由 [児童・未就学児の保護者]	5
(4) 設問(2)で「あまり適切ではない」「適切ではない」と回答した理由 [児童・未就学児の保護者]	6
(5) 学年内でクラス替えができることの必要性 [児童・未就学児の保護者]	6
(6) 学校規模適正化の検討に当たり重視すべきこと [児童・未就学児の保護者]	7
(7) 過去1年間に市立小・中学校にどれくらいの頻度でいったか [地区住民]	8
(8) 過去1年間に市立小・中学校にどのような理由で行ったか [地区住民]	8
(9) 学校教育以外で学校が担っている役割等として重要なもの [地区住民]	9
(10) 学校規模適正化に当たり、教育環境の充実以外で考慮すべきこと [地区住民]	9
(11) 各地域に学校を維持すること [児童・未就学児の保護者、地区住民]	10
(12) 学校の適正規模・適正配置の取組への意見・提案 [児童・未就学児の保護者、地区住民]	10
① 児童の保護者	10
② 未就学児の保護者	17
③ 地区住民	22

3. 自由記述欄 ※各設問における「その他」選択時の記載内容

(1) 設問(2)で「適切」「おおむね適切」と回答した理由 [児童・未就学児の保護者]	28
(2) 設問(2)で「あまり適切ではない」「適切ではない」と回答した理由 [児童・未就学児の保護者]	28
(3) 学校規模適正化の検討に当たり重視すべきこと [児童・未就学児の保護者]	29
(4) 過去1年間に市立小・中学校にどのような理由で行ったか [地区住民]	29
(5) 学校教育以外で学校が担っている役割等として重要なもの [地区住民]	29
(6) 学校規模適正化に当たり、教育環境の充実以外で考慮すべきこと [地区住民]	30

## 第1章 調査の概要

### 1. 調査の目的

市立小・中学校の適正規模・適正配置の取組に当たり、学校の統廃合を含めた方策を検討することとしている学校(関連する学校を含む)・地区における今後の方策検討に係る基礎資料として、児童・生徒※(以下「児童等」という。)及び未就学児の保護者や地域住民の皆様の意向や意識を把握するため

※1…本アンケートでは「児童」は市立小学校に通う小学校1～6年生、「生徒」は市立中学校に通う中学校1～3年生を指します。

### 2. 調査方法

種別	児童の保護者	未就学児の保護者	地区住民
調査対象	荻野小学校、鳶尾小学校、上荻野小学校に在籍する全ての児童の保護者	荻野小学校、鳶尾小学校、上荻野小学校の通学区域に在住する全ての未就学児の保護者	荻野地区に在住する市民(無作為抽出による 1,104人)
依頼方法	調査票を郵送		
回答方法	インターネット上のアンケートフォーム又は調査票で回答		
実施期間	令和5年1月31日～2月17日		同5年2月3日～2月20日

### 3. 回答率

種別	配布数	回答数	回答率
児童の保護者	665	235	35.3%
うち荻野小学校	(176)	(71)	(40.3%)
うち鳶尾小学校	(241)	(75)	(31.1%)
うち上荻野小学校	(248)	(89)	(35.9%)
未就学児の保護者	268	88	32.8%
うち荻野小学校	(71)	(20)	(28.2%)
うち鳶尾小学校	(115)	(41)	(35.7%)
うち上荻野小学校	(82)	(27)	(32.9%)
荻野地区住民	1,104	345	31.3%
合計	2,037	668	32.8%

※1世帯につき1アンケート調査を送付しています。複数の児童や未就学児がいる場合、調査票は最も年長のお子様の区分で集計しています。

例)1世帯に、荻野小学校児童と未就学児の2人がいる場合、荻野小学校の児童として集計

### 【報告書の見方】

- (1) 調査結果の構成比の割合については、小数点第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを表記しています。したがって、数値の合計が 100.0 パーセントにならない場合があります。また、個別の設問において無回答のような無効の回答がある場合に、回答数の合計と調査対象数が一致しない場合があります。
- (2) 複数選択が可能な設問については、全ての回答数を合計すると回答者数を超える場合があります。
- (3) 本文や表の選択肢の表記について、場合により語句を簡略化しています。
- (4) 自由記述については、未記入や判読が困難なもの、明らかな誤字などを除き、原則として回答いただいた内容をそのまま記載していますが、次に該当する場合は一部内容を修正しています。
  - ① 文字数が多い場合等については全文ではなく、一部を省略したり、要旨を記載したりしています。
  - ② 個人や個別の事例などが特定される内容等は、特定されないよう修正の上で記載しています。
- (5) 調査結果における太枠・太字箇所は、設問の選択項目のうち最も回答割合が大きい項目となります。

## 第2章 アンケートの回答

### 1. 回答者属性

#### (1) 児童の保護者

##### ① 児童が通学している学校

学校	全体	
	回答数	割合
荻野小学校	71	30.2%
鳶尾小学校	75	31.9%
上荻野小学校	89	37.9%
合計	235	100.0%

#### (2) 未就学児の保護者

##### ① 未就学児が在住している通学区域

学校	全体	
	回答数	割合
荻野小学校	20	22.7%
鳶尾小学校	41	46.6%
上荻野小学校	27	30.7%
合計	88	100.0%

#### (3) 地区住民

##### ① 年齢区分

年齢層	全体	
	回答数	割合
20歳未満	11	3.2%
20歳～29歳	21	6.1%
30歳～39歳	38	11.1%
40歳～49歳	55	16.1%
50歳～59歳	56	16.4%
60歳～69歳	79	23.1%
70歳～79歳	61	17.8%
80歳以上	21	6.1%
合計	342	100.0%

##### ② 世帯内における児童等の有無

児童等の有無	全体	
	回答数	割合
いる	55	16.1%
いない	286	83.9%
合計	341	100.0%

## 2. 設問

各設問の回答対象者は次のとおりになります。

設問	回答対象		
	児童保護者	未就学児保護者	地区住民
(1) 地区の子どもを取り巻く環境(児童・生徒数の減少傾向)	○	○	○
(2) 方針で定めている適正規模の範囲	○	○	
(3) 設問(2)で「適切」「おおむね適切」と回答した理由	○	○	
(4) 設問(2)で「あまり適切ではない」「適切ではない」と回答した理由	○	○	
(5) 学年内でクラス替えができることの必要性	○	○	
(6) 学校規模適正化の検討に当たり重視すべきこと	○	○	
(7) 過去1年間に市立小・中学校にどれくらいの頻度でいったか			○
(8) 過去1年間に市立小・中学校にどのような理由で行ったか			○
(9) 学校教育以外で学校が担っている役割等として重要なもの			○
(10) 学校規模適正化に当たり、教育環境の充実以外で考慮すべきこと			○
(11) 各地域に学校を維持すること	○	○	○
(12) 学校の適正規模・適正配置の取組への意見・提案	○	○	○

### (1) 地区の子どもを取り巻く環境(児童・生徒数の減少傾向)について

設問	全体		児童保護者		未就学児保護者		地区住民	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
1 知っていた	342	51.9%	144	61.5%	40	45.5%	158	46.9%
2 ある程度知っていた	253	38.4%	83	35.5%	37	42.0%	133	39.5%
3 あまり知らなかった	37	5.6%	6	2.6%	5	5.7%	26	7.7%
4 知らなかった	27	4.1%	1	0.4%	6	6.8%	20	5.9%
合計	659	100.0%	234	100.0%	88	100.0%	337	100.0%

### (2) 方針で定めている適正規模の範囲について

設問	全体		児童保護者		未就学児保護者	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
1 適切だと思う	102	31.7%	78	33.2%	24	27.6%
2 おおむね適切だと思う	194	60.2%	138	58.7%	56	64.4%
3 あまり適切ではない	18	5.6%	13	5.5%	5	5.7%
4 適切ではない	8	2.5%	6	2.6%	2	2.3%
合計	322	100.0%	235	100.0%	87	100.0%

(3) 設問(2)で「適切」「おおむね適切」と回答した理由について(3つまで選択可)

設問	保護者全体		児童保護者		未就学児保護者	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
1 児童・生徒の人間関係が深まりやすい	114	15.0%	77	14.0%	37	17.6%
2 豊かな人間関係の構築や多様な集団の形成が図られやすい	119	15.6%	82	14.9%	37	17.6%
3 多様な考え方に触れる機会や学びあいの機会、切磋琢磨する機会が多くなりやすい	113	14.8%	82	14.9%	31	14.8%
4 異学年間の教育・交流活動の機会が多くなりやすい	30	3.9%	22	4.0%	8	3.8%
5 学校行事や部活動等で一人一人の発表や活躍の機会などが多くなりやすい	20	2.6%	17	3.1%	3	1.4%
6 教員の目が届きやすく、きめ細かな指導を受けやすい	136	17.9%	102	18.5%	34	16.2%
7 習熟度別学習やグループ学習など多様な学習形態がとりやすい	23	3.0%	17	3.1%	6	2.9%
8 運動会や文化祭などの集団活動や学校行事に活気が生じやすい	110	14.5%	82	14.9%	28	13.3%
9 様々な種類の部活動等の設置が可能となり、選択の幅が広がりやすい	36	4.7%	25	4.5%	11	5.2%
10 ICT 機器などの授業で使用する教材や教具が一人一人に行き渡りやすい	12	1.6%	7	1.3%	5	2.4%
11 学校と保護者・地域住民が連携した教育活動を展開しやすい	7	0.9%	5	0.9%	2	1.0%
12 PTA 活動等における役割分担などで保護者の負担を分散しやすい	38	5.0%	31	5.6%	7	3.3%
13 その他	3	0.4%	2	0.4%	1	0.5%
合計	761	100.0%	551	100.0%	210	100.0%

(4) 設問(2)で「あまり適切ではない」「適切ではない」と回答した理由について(3つまで選択可)

設問	保護者全体		児童保護者		未就学児保護者	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
1 全教職員による児童・生徒一人一人の把握が難しくなりやすい	13	30.2%	9	30.0%	4	30.8%
2 学校行事や部活動等で一人一人の発表や活躍の機会などが少なくなりやすい	2	4.7%	1	3.3%	1	7.7%
3 同学年の結びつきが中心となり、異学年交流の機会が少なくなりやすい	3	7.0%	2	6.7%	1	7.7%
4 特別教室や体育館、プール等の施設・設備の利用面で、一定の制約がかかりやすい	2	4.7%	1	3.3%	1	7.7%
5 児童・生徒の人間関係や相互の評価などが固定化しやすい	1	2.3%	0	0.0%	1	7.7%
6 多様な考え方に触れる機会や学びあいの機会、切磋琢磨する機会が少なくなりやすい	2	4.7%	1	3.3%	1	7.7%
7 運動会や文化祭などの集団活動や学校行事に制約が生じやすい	2	4.7%	2	6.7%	0	0.0%
8 習熟度別学習やグループ学習など多様な学習形態がとりにくい	4	9.3%	3	10.0%	1	7.7%
9 部活動等の設置が限定され、選択の幅が狭まりやすい	1	2.3%	1	3.3%	0	0.0%
10 PTA 活動等における保護者一人当たりの負担が大きくなりやすい	5	11.6%	4	13.3%	1	7.7%
11 その他	8	18.6%	6	20.0%	2	15.4%
合計	43	100.0%	30	100.0%	13	100.0%

(5) 学年内でのクラス替えができることの必要性について

設問	保護者全体		児童保護者		未就学児保護者	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
1 必要だと思う	180	56.3%	126	54.1%	54	62.1%
2 どちらかといえば必要だと思う	116	36.3%	91	39.1%	25	28.7%
3 どちらかといえば必要ではない	14	4.4%	8	3.4%	6	6.9%
4 必要ではない	10	3.1%	8	3.4%	2	2.3%
合計	320	100.0%	233	100.0%	87	100.0%

(6) 学校規模適正化の検討に当たり重視すべきことについて(2つまで選択可)

設問	保護者全体		児童保護者		未就学児保護者	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
1 長期的に一定の集団規模を維持でき、豊かな人間関係の構築や多様な集団の形成などが図られること	87	14.3%	62	14.0%	25	15.2%
2 通学に係る児童・生徒の負担が大きくなること(必要に応じて通学負担軽減の方策が図られることを含む)	244	40.1%	178	40.2%	66	40.0%
3 通学路の見直しや整備など、通学の安全性が確保されること	154	25.3%	109	24.6%	45	27.3%
4 地域コミュニティと学校との関係が維持され、連携が図られやすいこと	28	4.6%	23	5.2%	5	3.0%
5 教職員の学校運営や校務などに係る負担が軽減されること	46	7.6%	32	7.2%	14	8.5%
6 将来的な学校の在り方を見据え、学校施設の建て替え費用の削減等が図られること	10	1.6%	10	2.3%	0	0.0%
7 どれだけ小規模になっても学校の統廃合は行わず、全ての学校が維持されること	28	4.6%	18	4.1%	10	6.1%
8 学校規模適正化の方策自体を検討する必要がない	4	0.7%	4	0.9%	0	0.0%
9 その他	7	1.2%	7	1.6%	0	0.0%
合計	608	100.0%	443	100.0%	165	100.0%

(7) 過去1年間に市立小・中学校にどれくらいの頻度でいったか

設問	地区住民全体		児童等がいる		児童等はいない	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
1 週1回以上	14	4.1%	7	12.7%	7	2.5%
2 月1回以上	16	4.7%	7	12.7%	9	3.2%
3 半年に1回以上	39	11.5%	<b>27</b>	<b>49.1%</b>	12	4.2%
4 年1回以上	81	23.8%	10	18.2%	71	24.9%
5 1回も行っていない	<b>190</b>	<b>55.9%</b>	4	7.3%	<b>186</b>	<b>65.3%</b>
合計	340	100.0%	55	100.0%	285	100.0%

(8) 過去1年間に市立小・中学校にどのような理由で行ったか(いくつでも選択可)

設問	地区住民全体		児童等がいる		児童等はいない	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
1 子どもの見送りやお迎え(例:児童クラブなど)	24	8.9%	19	17.1%	5	3.1%
2 保護者としての活動(例:PTAなど)	15	5.6%	12	10.8%	3	1.9%
3 学校運営関係者としての活動(例:学校運営協議会など)	1	0.4%	0	0.0%	1	0.6%
4 教育活動や放課後活動などのボランティア(例:学習支援ボランティアなど)	10	3.7%	2	1.8%	8	5.0%
5 学校行事(例:運動会や発表会、授業参観など)	60	22.2%	<b>40</b>	<b>36.0%</b>	20	12.6%
6 選挙での投票	<b>91</b>	<b>33.7%</b>	17	15.3%	<b>74</b>	<b>46.5%</b>
7 災害時(大雨、台風、地震)における避難	2	0.7%	0	0.0%	2	1.3%
8 避難訓練などの防災関係活動	17	6.3%	6	5.4%	11	6.9%
9 地域(例:町内会・自治会、子ども会など)の会合・行事	15	5.6%	2	1.8%	13	8.2%
10 体育館や校庭などを利用した活動(例:スポーツ・文化活動など)	19	7.0%	8	7.2%	11	6.9%
11 業務上の関係(例:学校で働いている、学校と業務上の関わりがあるなど)	12	4.4%	4	3.6%	8	5.0%
12 その他	4	1.5%	1	0.9%	3	1.9%
合計	270	100.0%	111	100.0%	159	100.0%

(9) 学校教育以外で学校が担っている役割等として重要なものについて(2つまで選択可)

設問	地区住民全体	
	回答数	割合
1 児童・生徒の放課後の居場所・活動場所としての役割	184	29.1%
2 地域の防災の拠点としての役割	206	32.6%
3 地域コミュニティや地域のつながりに関わる活動・交流の拠点としての役割	80	12.7%
4 スポーツ・文化・生涯学習の拠点としての役割	50	7.9%
5 地域の歴史や文化の中核的な存在としての役割	13	2.1%
6 地域づくり・人づくりを進めるための地域の核としての役割	55	8.7%
7 子育て世帯等の移住や定住を促進する役割	29	4.6%
8 特にない(児童・生徒の学びの場以外の役割があると思わない)	15	2.4%
9 その他	0	0.0%
合計	632	100.0%

(10) 学校規模適正化に当たり、教育環境の充実以外で考慮すべきことについて(2つまで選択可)

設問	地区住民全体	
	回答数	割合
1 自治会や青少年健全育成会などを始めとする様々な地域コミュニティ団体と学校との連携・協力が図りやすいこと	57	9.2%
2 児童・生徒の放課後の居場所・活動場所、地域防災の拠点など、地域コミュニティの拠点としての機能が維持されること	211	34.1%
3 学校施設の維持管理や再整備に係る経費などを考慮し、適正な規模での施設更新や施設の複合化が図られること	90	14.5%
4 市都市計画における各地域のまちづくりの方針や地域づくり諸計画等との整合が図られていること	33	5.3%
5 将来的に児童・生徒数が減少する見込みであっても、地域コミュニティや地域づくりのため、地域内の全ての小・中学校が維持されること	67	10.8%
6 将来的に児童・生徒数が減少する見込みであることを踏まえつつ、地域コミュニティや地域づくりのため、地域内に小・中学校がそれぞれ1校以上維持されること	132	21.3%
7 特にない(教育環境の充実以外を考慮する必要はない)	4	0.6%
8 よくわからない	18	2.9%
9 その他	7	1.1%
合計	619	100.0%

(11) 各地域内に学校を維持することについて

設問	全体		児童保護者		未就学児保護者		地区住民	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
1 維持すべき	258	39.2%	79	34.1%	40	45.5%	139	41.1%
2 できれば維持すべき	269	40.9%	95	40.9%	31	35.2%	143	42.3%
3 必ずしも維持しなくてよい	115	17.5%	52	22.4%	17	19.3%	46	13.6%
4 維持しなくてもよい	16	2.4%	6	2.6%	0	0.0%	10	3.0%
合計	658	100.0%	232	100.0%	88	100.0%	338	100.0%

(12) 学校の適正規模・適正配置の取組に対する意見・提案について

① 児童の保護者(回答数:67件)

回答区分	No	回答内容
取組の考え方・進め方・スケジュール (36件)	1	少子化により児童数が少なくなる中、学校の統廃合は仕方ないことであると考えます。また、分散することによる先生の負担を考えると、頭が下がる思いです。懸念材料としては、学区の範囲が広がることによる児童の通学・帰宅の労力です。バス通学など考えられますが公平な形での行政サービスを提供できるのかが難しい所であると認識しています。
	2	児童の減少が進むことが見えていれば学校再編は必ず考えなければならないことです。児童の通学に支障をきたさない範囲での再編であれば積極的に行うことを望みます。通学時の事件、事故を防ぐためにスクールバスの運用等も検討されるべきことと思います。
	3	児童・生徒の減少に伴い、小・中学校も適正にしなければならない中、地方は、数十年前から対策を取っております。そのノウハウを参考にしてみても、新たな対策を検討してみたら良いと思っております。
	4	1学年1クラスではクラス替えもできず、学校行事もやりづらくなっていくのではないかと。再編や統廃合はやむを得ないと思っております。
	5	学校の統廃合はできる限り避けたい。これはこの地域に住んでいる方々も同じように考えている方が多いかと思っております。鳶尾地区は高齢者が多く、これから若年層への移動が少しずつ始まっていくかと思っております。もう少し様子を見てから改めて検討でもよいと考えています。
	6	あくまで、児童と生徒が主役。より良い教育が受けられるよう最大限の配慮を。参考資料を見ていると、教職員ありきで資料が作られているとしか思えない。教職員の負担を減らすのも大切なのは分かるが。
	7	少子化の最中、学級が1クラスだと効率が悪い。学習の多様化のため、クラスを2クラス以上にすることが必要がある。今後は統廃合を検討してください。
	8	生徒数があまりにも多いと、また違う問題は起こりうるが、ある一定数の人数は在学していた方が人間関係構築の場において必要なことではないかと考えます。統合されるようなことがあった場合、子どもの通学の安全性は考える必要が大いにあります。

取組の考 え方・進め 方・スケジ ュール (36件)	9	一学年に一クラスであると、クラス替えというイベントならではの変化を味わうことがないので、親としては既にデメリットがあると感じます。(良いクラス運営がなされていたとしても)メンバーが変わって新たなクラスをつくり上げるという経験を通して得られるものもあると考えるからです。学区に学校があることもありがたいことですが、学校ならではの仕組みで成長する機会があると更に良いと考えます。
	10	地域によって通学する小学校が決められています、通う小学校を選択できたらと思います。
	11	少ない生徒でたくさんの学校を運営するより、多くの生徒で少ない学校を運営した方が、子どもにとっては沢山のひとと接することができる良いのではないかと思います。それによって学校が遠くなって、通学に負担が発生する生徒に対してはアメリカのように通学バスで迎えに行く等の対応をしてはどうでしょうか。
	12	適正規模を行うメリットは大人側にしかなく、子どもたちは学区が広がると遠方の友達と放課後などに遊びにくくなり、結果、友達関係にも影響しかねないと思う。厚木市は子育て支援をたくさん行っているにもかかわらず、行政の都合で学校を統合して、子育てしにくくなってしまいそう。子育て世代は住む地域を考える時は小学校の位置は重要で、通学区域が変わることは思ってもいないことで裏切りにしか思えないと私は考えています。
	13	そもそも、このような状態になっていることは、子どもたちの責任ではない。また、予算不足のしわ寄せを、子どもたちにさせることはこれからの少子化が予想される中で、ますます悪循環である。少数なクラス・学校でも立派な者たちは多数いる中で、なぜ、大人の考えで、このような考えが出てくるのが不思議です。
	14	学校までの距離が遠くなることで児童だけでなく保護者の負担も増え、また放課後など家の遠い友人との関係で帰宅時間の不安が出てくる。また校庭の広さなど環境を整える必要がある。
	15	児童・生徒が減少しているので統廃合はやむを得ないと思うが、上荻野と愛川の境の児童は上荻野小学校がなくなると遠くて通えないと思う。
	16	適正配置について、建築年数や子どもたちの通学への負担にならない範囲を考慮して選定をしていただきたい。
	17	中高一貫校を作ってください。荻野地区は自然が豊かで、子育て環境日本一を目指す厚木市が一番力を入れたら良いのではないと思う地区です。が、高校、大学と選択肢が少なく、交通の不便さから、若い人に敬遠されています。元々荻野地区で育った子どもたちは大人になり、地元に戻って来る人がとても少ないです。何故なら高校、大学時代に通学で苦勞するため、自分の子どもにはもう少し便利な場所を、と街中に住むようになり、地元から出て行ってしまいます。また、子どもが成長した時点で引っ越してしまいます。高校まで自然環境豊かな場所でのびのびと次世代を担う子どもたちが過ごせるように中高一貫校を作ってください。地元が好きですが、高校進学を見据えて我が家も引っ越しを考えています。
	18	例えばの案ですが、荻野小を廃校とし、荻野小の子たちを上荻野小、鳶尾小に振り分ける、といっても家から小学校まで登校が遠く、通学が困難な子(例:みはる野→鳶尾小まで)などは幼稚園バスのようにバスで送迎してあげる。皆さんそれぞれの意見もあると思いますが、合理的に進めるべきだと思います。
19	荻野小を荻野中学校と統合、それぞれ上荻野小・中学校、鳶尾小・中学校でどうでしょう。	

取組の考 え方・進め 方・スケジ ュール (36件)	20	鳶尾小学校は校庭も広く畑もあるので子どもたちの教育上観点からも残してほしい。小規模小学校のデメリットの PTA 活動の負担増は PTA 活動を縮小すればいいので、そんなにデメリットとは感じない。小規模学校統合を前提とした誘導的な資料に感じた。
	21	鳶尾小学校保護者ですが上荻野小学校出身です。小学校低学年の登下校時間に掛かる時間が不安です。大人になっても通勤時間が1番勿体ない時間だと考えています。スクールバスは幼稚園のように家の前までですか？地域ごとに作られたバス停までですか？お友達との放課後の過ごし方について時間や距離で遊ぶことのできる子と諦めなければいけない子とできてしまいませんか？登下校の負担をできるだけ減らすように住んでいる場所での負担の大きさが小さくなるように検討をお願いします。地域の真ん中に建っている学校を選ぶのは自然な考え方で荻野小学校を選ぶのもいいとは思いますが、鳶尾小学校の敷地の広さはとても魅力的だと思います。地域の方との協力がこれからも続くようにできたらと思います。黄色いベストの地域の方に見守っていただいて安心して登下校できています。行事も地域の方にご協力いただいていることも多いです。統廃合後も引き続き地域の方との交流が続くようにお願いします。
	22	20～25人のクラスは保護者としては安心感がある(先生の目が届きやすいなど)。統合された場合の通学への配慮は十分にしてほしい(犯罪など安全面、長距離を歩く場合、今後、更に気候の変動で、暑さなどは危険では)。保護者の送迎(車)を可能にできるように駐車場の整備があるといいと思う。(長距離になる家庭だけでなく、不登校や障がい、家族(介護する人がいるなど)の事情によって必要な場合もある)。取組に対する意見にはならないが、統合するとほぼ決まっていると感じているので、その際、不登校を予防する対策やクラス、子どもの居場所を作ってあげてほしい。インクルーシブは相当の準備期間が必要であると思うが、インクルーシブ学童などが少しずつ広がっていければよいと思う。使用されなくなった学校を有効活用できると良い。(不登校クラス、地域のふれあいセンターなど)一番は住みよい地域にして人が増える対策があればよいのではないかと思います。未来の子どもたちがいきやすい場所となれるように、どうぞよろしくをお願いします。
	23	地域としては、荻野中学校に行くこととなるため、荻野小学校に集約することが良いと思います。遠方の子どもは、安全面も考慮してスクールバスなどの配備なども検討してはいかがでしょうか。廃校した校舎は、他の市民サービス、スタートアップ企業に貸すなど活用してほしいです。丸ごと企業に貸すなどできるかと思います。仕事があれば、地元から離れる若者も減少し、人口比率も安定していくのではないのでしょうか。乱文、自由意見で申し訳ありませんが意見させていただきました。より良い地元となればと思います。
	24	小学校のみで考えると、3校だけでなく、三田小・清水小も含めて通学区域の編成を考えた方が良いような気がします。

<p>取組の考 え方・進め 方・スケジ ュール (36件)</p>	<p>25</p>	<p>それぞれの学区内に、例えば自然環境とか、その地域の良さ特色を持っている（上荻野小のぼうけんの森、大豆づくり、荻野小の荻野川バードウォッチングなど）。統合された場合は、その良さを複数持てることになるので、校外学習などで有効に使えると、子どもにとって多様な経験を得ることができると思う。1学年で複数クラス(クラス替えができる)になることで、交友関係の固定化を防ぎ、多様な人格に触れることができ、学級崩壊などの対処にもつながると思うので、統合化には賛成。ただ、遠隔居住者に対しては通学の便も含めて十分なケアをお願いしたい。不公平感を無くすることが重要。また交通安全、災害時の緊急対応など、保護者が安心できる仕組みづくりが必要。統合により、いくらか教職員の負担も減ると思うので、行事など子どもが勉強以外で楽しむイベント(運動会、校外学習、遠足など)に力を入れてほしい。学年人数が増えることによる、メリットを十分にいかしてもらいたい。</p>
	<p>26</p>	<p>学校の規模が小さくなくても、児童の通学負担が増えないように、学校数などは維持していただきたい。学校の規模が小さいなら小さいなりの運営をしていけば特に問題ないと考えている。</p>
	<p>27</p>	<p>荻野小学校を残そうする動きがあるという話しを聞いたことがある。理由は3校の中間地点だからという理由ではなく、古くからあり重要な建築物であるからと聞いた。それは子どもたちにとって最適ではないので考え直したほうがよい。※説明会でそのような話しがあった。個人的には荻野小学校は道路が近いなど通学に向かないと思う。特に地下通路は犯罪の温床になりかねないのでなくしたほうがよい。小中一貫も視野に入れたほうがよい。</p>
	<p>28</p>	<p>少子化が進んでいるので、児童数が減るのは当たり前であり、仕方のないこと。それはどの学校でも言えること。昔と比べることはしなくて良い。ただ、小学校を住んでいる地区等で分けるのではなく子どもが行きやすい距離などで選べるようになれば良いと思う。(今も選べるようになったようですが昔はダメだったみたいなので)ただ単に3校の真ん中をとって荻野を半分に分けるとかは検討してほしくないし、かといって母校でもある鳶尾がなくなることも絶対望まない。もし、統合するならば安全にも配慮したスクールバスは必須であると思う。</p>
	<p>29</p>	<p>大きく生活サイクルが変化してしまうのは、すごくストレスになると思うので、どのような時期(タイミング)で行うのか考えてほしい。</p>
	<p>30</p>	<p>実施された場合、児童の保護者として懸念することは、通学に掛かる距離・時間や、環境変化による児童の心身への影響かと思います。細やかな説明、対応を希望します。</p>
	<p>31</p>	<p>10年位前にみはる野の学区が変わり友達同士だった子どもたちが急に別々の学校になってバラバラになってしまった。新一年生から学区を変え、入学した子どもたちはそのままにすればよかったのではないかと思う。</p>
	<p>32</p>	<p>在学途中での統廃合は児童、生徒及び保護者の精神的不安、負担が大きくなるので、途中からは避けてほしい。今後、統合せざるを得ない場合、若い世代のその地域での居住や移住が減り、ますます地域の高齢化や過疎化が進むのではないか。</p>
	<p>33</p>	<p>途中から学校が変わってしまったり、登下校する際の安全面や距離などを考えると統廃合することに快く賛成はできない。しかし、人数が減ってしまっていることを考えると統合することは必然なのかと思う。その際の子どもへのケアや通学時の問題の最善をつくしていただければ、賛成ではないながらも受け入れようと思う。</p>

取組の考 え方・進め 方・スケジ ュール (36件)	34	子どもの通学距離が遠くなりすぎないようにしてほしい。兄弟で別の学校にならないようにしてほしい。入学したら卒業までは同じ学校がよい。仲の良い友達と離れ離れになるようなことのないようにしてほしい。※自治体や市町村というよりも国家に対してですが、少子化に対する対策をもっと真剣にとってほしい。安心して子育てができる国づくりをしてほしいです。
	35	地域の子どもの数が少なくなっていることに実感があり、このままでは息子の母校はなくなってしまうのだろうなあと感じていました。他にもいろいろと方策を考えていただいていることに感謝しております。統廃合は致し方ないと考えますが、ぜひ、子どもたちと教職員の皆様の負担にならない方法で実行していただきたいと思えます。
	36	学級数は国の基準は18級だが今回は24級とするのはなぜか。小規模でのデメリットよりも、統合することでの子どもたちの通学の負担や放課後の過ごし方などについての不安がある。通学時間の上限について、小学生低学年での45分や中学生の60分は掛かり過ぎではないか。また、緊急時、集団下校となった際も危険ではないか。また、距離があると、学校行事等では保護者が車で行けないため負担が大きくなる。対策はとれるのか。PTAの負担の項目があるが、活動自体の在り方や方法を変えればよいのでは？
教育環境 (10件)	37	規模によっては、小・中学校を1つの校舎で小中一貫校のような形にしても、良いのではないかと考えます。
	38	少人数学級の取組を実施して進めていってほしい。
	39	低学年は1クラス当たりの人数をもっと少人数にして、先生の目が行き届くようにしてもらえたらと思います。
	40	法律で定められた学級編制の人数ではなく、そこはなんとか市独自で少人数学級を実施できるよう努力していただきたく思います。子どもを大事にする厚木市には、大変期待しています。ぜひ小規模クラスを実現し、きめ細かい教育をお願いしたいです。
	41	少人数学級化(理想は20人学級)を進めてほしいです。教員の負担軽減になり、子どもへの好影響となるため。
	42	良く学び、良く遊べとの言葉があるように校内で、遊べる(スポーツ含)空間が必要であると思う。教員の負担軽減も考え、地域のボランティア等との協働が進められると望ましいと思う。統合により生徒数が増えることで中学の部活動の活性化が図れると良いと思う
	43	教職員の負担の軽減を第一に考えてください。多様な考え方に触れる機会は、ICTを活用した学校間交流、習い事や放課後児童クラブといった学校外の取組でも対応できると思います。学校規模が小さいところほど、ICTの活用によって広い世界に触れる必要性が高いため、一層の推進をお願いします。
	44	校舎の老朽化などを考えれば、長期スパンで建て替えや新しい学校などの建設を検討しても良いと思います。
45	明治以降、特に戦後教育体制により、自分で考えられない大人が増えている。これは、学校教育そのものの方向が間違っていたことにほかならず、子どもにとって、何が一番必要な教育なのか、教師を含め、大人が何を学び子どもに伝えるか。国の一方的な教育の押し付けから離れ、厚木市独自の教育方針の検討なども含めて統廃合について検討していきたい。	

教育環境 (10件)	46	学区にとらわれず、行きたい学校へ行く、または、オンライン授業も選択できるようにすべき。また、学力に応じた能力別学級の設定も必要。
通学関係 (13件)	47	安易な統廃合は子どもの負担が大きい。特に重いランドセルを背負い、現在のような猛暑が続く気候で長距離を歩かせることは命の危険を伴う。荻野小に集めるという噂も聞いたが、場所も大通りを横切り、3校の中で一番狭く不便。一番人数の少ない荻野小を鳶尾小、上荻野小に分けるのが妥当。万が一統廃合をするなら、不便のない無料バスを出すべき。
	48	学校の統廃合は仕方ないことだと思います。ですが、通学路の安全は確保してください。荻野中学校西門の横断歩道には手押し信号すらありません。鳶尾5丁目が荻野小から鳶尾小へ変更になり、毎日その危険な横断歩道を渡ります。朝の通勤時間帯はスピードを出す車も多く、鳶尾小の子も荻野中の子も大変危険です。小学校を再編するのでしたら、まず子どもたちの安全を考えてください。
	49	適正規模・適正配置の取組をするのであれば、小学生の場合、安全に通学できることを最優先に考えていただきたい。費用は掛かるが、スクールバスを運行することも併せて検討していただきたい。通学距離が長くなることや低学年での路線バス利用は安全面、防犯面から大変心配である。クラスや友達と上手いかなかった時に学年あたり2学級程度ないと逃げ場がないのではないかとも思う。一方、通学の安全性確保の観点からは学年あたり1学級でも現在の学区のままで、資料P3のデメリットではなくメリットの方を重視したい。
	50	遠くなるため、通学路の安全が確保されるかが心配。(統合に当たって)環境の変化による子どもへの影響が不安。
	51	学校の統合は仕方ないと思いますが、やはり通学の負担や近年の子どもに関する犯罪の危険が懸念されます。公共交通機関やスクールバスなど子どもの安全を図る取組を求めます。
	52	スクールバスを運行する場合、運行する範囲の設定が気になります。乗り遅れた場合など。
	53	適正配置とはいえ、新入学児童～低学年児童にとって、一部地域では、学校までの通学方法に不安を感じるのではないかと思う。スクールバスの導入など具体的な準備ができてから再編成・統廃合を行ってほしい。そのための費用などは税金を使用すべき。そのための税金だと思う。間違っても各家庭に任せるような判断は良くない。
	54	もし学校の統合などがあった場合、遠くまで通わなくてはならないことも出てくると思うのでスクールバスを出してもらえると助かります。
	55	通学の負担を考え、スクールバスなどの検討をお願いします。
	56	学校の配置については、人数が多くなる=学校の広い場所が良いと思うので、学校までの距離が長くなる家庭、地域の子に対しては、送り迎えのバスなどを利用してもらうことが必要でないかと思います。
	57	通学区域の再編成に当たり、通学距離が2km以上など遠くなる場合はスクールバスや、中学生の場合は自転車通学を認めるなど対応していただきたいです。生徒数の減少による学校の統廃合は基本的に賛成ですが、1クラス25～30名の人数が望ましいと考えます。先生が生徒一人一人に目を向けられる環境で子どもを学ばせたいです。担任の先生1人につき1クラス35名は、まだ多いと考えます。

通学関係 (13件)	58	教職員不足、負担を考えると必要だと思います。ただ、実質的に、子どもの通学の不安が出てきます。スクールバスなどを検討してもらいたい。というか必然です。安全は第一です。
	59	学校を統合する場合、スクールバスの運用が必要だと思いますが費用は市又は国で負担していただきたい。また、1～6年の間に学校が変わる場合の卒業アルバムや修学旅行積立金などの管理等は子どもの不利益にならないようにしてほしい。
地域づくり・ 地域コミュニティ (4件)	60	学校が少なくなる分、若い世代はどんどん都会に移住してしまうと思います。
	61	荻野地区は厚木の郊外なので我が家の子どもたちは住みにくいと感じているようです。子どもが大きくなっても、また荻野地区に住み、今度は自分の子どもを育てても良いと思える環境が整っていれば良いなと思います。
	62	統合された小学校を課外教育として利用、農業体験等をして収穫した野菜は給食へ利用、授業で使う備品・机・イス等の製作・メンテナンスを行う、小学校への登下校・課外授業先への移動でコミュニティバスを運行し一般の人も含めて利用、などの事業で地産地消と給食費を使い雇用確保
	63	母校がなくなるのはとても寂しいことなので、廃校となっても校外学習や活動などで子どもたちが戻って何かできるような施設に変わってくれたらいいなと思います。ぼうけんの森などとても良い活動ができた場所もいかしてほしい。
その他 (4件)	64	子どもの減少に対して対策をとるべき。
	65	厚木市で子育てをしやすい環境を作ってこなかったツケが今回っていると思う。愛川町ですら若者の結婚にお祝い金を出しているのに厚木市では何もしない。子どもが減ったから統廃合しますという考えは、あまりにも安直過ぎて笑ってしまうレベルの話だと思う。就学援助等を手厚くしない限り何も変わらない。学校を無くしてしまうことにより避難先が減り、リスクが上がったり、近隣からするとメリットが何も無い。
	66	自己中心的な考えになりますが、自分の子が小学校を卒業するまでは、統合は行わないでほしい。
	67	令和9年に小学校へ入学予定の子どもがおります。我が子は生まれつき難病で体が弱いです。なので、このまま少人数の小学校へ入学した方が密になりにくいのでウイルスに感染しやすさは低くなり安心できます。一方もし新しく校舎を建て替えて統合するようなことになれば換気システムがしっかりしたり、冷暖房がいき届いた教室にしていきたいです。また今のところオストメイトでもあるので、オストメイト用のトイレも設置していただきたいです。そして学習室の様な病弱児クラスの設置を望みます。また小学校は掃除の時間は設けてありますが、とても清潔が行き届いているとは思えないので(私はクラス 10 人の小さな学校出身で少人数だったからか上ばきもほとんど汚れませんでした、人が増えるとその分汚れは増えます)免疫の弱い我が子にとっては清掃員の方が別でいらっしやると大変心強いです。ぜひよろしくお願い致します。

② 未就学児の保護者(回答数:36 件)

回答区分	No	回答内容
取組の考え方・進め方・スケジュール (18 件)	1	荻野地区に関しては合併もやむを得ない。大切なのは全国と比較しても教育環境等が劣らず、むしろ「厚木市で立派に育つことができ良かった」と保護者、子どもともに思えるような環境を希望します。宜しくお願い致します。教員不足があるのであれば、臨時的任用職員や非常勤講師を積極的に採用するのも良いかもしれません。私も教員免許を持っているので協力いたします。
	2	まず、全ての学校を維持してほしいというのが第一です。その上で、学校の老朽化で整備が必要だが、財政面で難しい、あるいは、教職員の確保ができない等の理由があれば統廃合しなければいけないかなと思います。財政や人員が足りているのに、適正規模を理由に統廃合を進めるのはおかしいのかなと思います。(適正規模の話がない方が統廃合に納得できると思います。)
	3	厚木市内でも最近では、学区によって児童・生徒の人数に大きく差があると感じています。小規模や単学級の学校では、クラス替えが出来ずに大変な思いをしていると聞いていますが、その分人数が少ないことよっての利点もあると聞いています。(例えば、ラグビーW 杯の時は玉川小に選手が来てくれた、ALT が低学年にも週一回は授業をしてくれるなど)そういった経験が、規模に関係なくできると良いかなと思います。児童・生徒数が減り、学級数が減ることも心配ではありますが、統廃合により通学時間が長くなることや、統廃合によって学級数が急増え、学校全体で児童・生徒を見守る体制が弱くなることも心配です。学校が徒歩数分圏内にあることも、この地区に引っ越してきた理由でもあるので、統廃合によって、校舎がそこではなくなってしまうこともあり得ると思うと残念です。
	4	政府の積極的な少子化対策の結果が出る前に統廃合を実行するのは時期尚早ではないかなと思います。特に過疎化の進む地域の小学校が廃校になってしまうと、小さな子どもが人通りの少ない道を長い距離歩く必要が出てしまい、事件・事故に巻き込まれる可能性が上がってしまいます。子どものことを考えた結果を期待しています。よろしくお願いします。
	5	正直、実施してみないとわからないことも多いと思います。地域の方々におかれましても意見が合致するということはもはや困難なため、試行期間という意味合いも含め、早期に着手していただきたいです。荻野地区においては、子どもの減少により統合は目に見えているお話であり、在学中に学校が変わってしまうかも…という不安定な気持ちの中で学ぶより、統合先をいち早く明確にいただき、まずは希望者だけでも試行して、着手して行ってほしい考えです。統合することに反対しているわけではなく、子どもたちのためにいち早く安定した環境を提供してあげたほうが良いのではないかと考えます。
	6	義務教育において、最も重視されるのは、児童・生徒の健やかな成長であり、統廃合による学区変更や環境の変化等で、それ自体に支障をきたすのならば実施するべきではないと考えます。また、現在その学区で教育を受けている児童・生徒の意見も聞くのでしょうか。そのような予定がないのであれば、聞いてその意見も取り入れるのも良いと考えます。

取組の考 え方・進め 方・スケジ ュール (18件)	7	小学校の3校を一つにした方が良いと思います。それに当たっての課題はたくさんあると思いますが、中心の荻野小にまとめ、上荻野の方の子などはバス通学も認めてバス会社にも協力してもらい本数を増やすなど。荻野小・荻野中の間の地下道もせつかく市が造ってくれたと思うので、これを今後もいかすことを考え、荻野小に一つにした方が少しでも減少は防ぐことができるのではと思います。貴重な義務教育の期間をより多くの子どもたちと一緒に活動をしてもらいたいです。よろしくお願ひ致します。
	8	鳶尾の4・5丁目は、元々荻野小の学区で、みはる野ができた時に人数が多くなり収容しきれなくなるということで鳶尾小学区に変更になったが、収容人数の問題は既になくなったため、元に戻してよいと思う。特に鳶尾5丁目については荻野小の横を通りすぎて遠い鳶尾小まで通学する児童もでてくるため、5丁目は自由に学校を選択できる地域にした方がよいと思う。また我が家にも幼稚園の年中に通う子どもがいて、R5年度に小学校入学予定があるため学校の変更手続き(5丁目なので鳶小→荻小への変更)の時期や手続き方法について早目に知りたいです。
	9	みはる野2丁目に姪っ子甥っ子が住んでますが、上荻野より荻野小の方が近いので歩くことなどを考えると合併してほしいです
	10	私も厚木市育ちであり、飯山小・小鮎中と通学していました。小学校は6年間常に2クラスだけでしたが、学年の児童全体が仲良く交流のあるような優しい学校でした。中学校も3年間4クラスの配分で、部活動の競技人数が足りなくなることなどありませんでした。小規模校の統合等は建物設備の老朽化、教職員の人数が間に合うのであれば、できる限りしない方がいいのではないかと思います。
	11	学区が広範囲なので、上荻野と鳶尾を残すのはどうか。
	12	鳶尾小学校を残してほしいと思います。広い敷地、広い校庭、景色も良く、とても良い場所だと思います。
	13	小学校3校を1校にするという話は止めた方が良くと思う。どうしても遠すぎる家庭も出てきますし、通学路の安全性がない。特に小学校低学年の通学に関して遠すぎると親御さんたちの心配が大きくなる。もし統合が必要であれば、上荻野は残し、鳶尾と荻野どちらかを残し2校にするなどした方が立地的に安全性は高いと思う。それに伴い、通学路の見直し、周辺の茂みの伐採などいろいろなことを市で行ってほしいと思う。現在でも通学路として使われている道で危ないなどと思う所が多少ある。車通りも多い所なるべく避けるべきだ。高齢化も進み、運転が不安な方が結構な確率で運転をしている。市は駅前の開発に力を入れるだけではなく、人口が減りつつあるこちら側の開発に力を入れて、子育て世代の住む所の分散にも目を向けてほしい。あとスクールバスの案もあまり適切ではないと思う。スクールバスの事件が結構あるので、やはり心配。コロナ禍もあり、密集してバスに乗るのもあまり適切ではないと思う。これから小学生となるお子様たちと親御さんの不安をしっかりとなくしてほしいと思う。
	14	遠いエリアになる場合、保護者の駐車場の整備もしていただきたい。
	15	統廃合によって学校へ行きたくないと思う不登校の生徒が増えることが無ければよいと思います。親の意見より子どもの意見が大切なのではないでしょうか。学校に通うのは子どもたちなので子どもたちが生活しやすい環境になればと思います。

取組の考 え方・進め 方・スケジ ュール (18件)	16	統合する場合は親に負担なく安全に通学(スクールバス・道路の整備等)できるような環境を整えていただきたいです。
	17	少子化なので、統廃合は仕方ないことだと思います。しかし、クラスが多くなりすぎて、教育の質が下がってしまったり、通学に負担が掛かることは避けなければならないと思います。通学時間は元々小学校の近くに家を構えた人もいると思うので、遠い方にはスクールバスを用意するなどなるべく負担がないよう、検討していくことが必要だと思います。
	18	問2を2と答えましたが、2クラス～という所は少ないように思います。
教育環境 (7件)	19	少人数制での学級が可能になるよう希望とお願いをさせていただきます。
	20	生徒数の減少で1学年、1クラスになっているが、1クラス35人と多い人数の中、担任が子ども1人1人に目が行き届くのかとても心配。35人まではギリギリ1クラスではなく、2クラス作っても良いのではないかと思う。
	21	学級数が少なくなればなるほど、子どもたちの人間関係も固定化し、何かトラブルが起きた時に困ると思います。また、学級数が少ないと教員の負担も大きくなると考えられるので、教員の皆さんが大変だと思います。
	22	参考資料の2ページ目に教職員の方の多忙化として時間外の時間数が記載されていましたが、適正規模・適正配置の取組を行うことで時間外の時間数はどの程度減少する見込みなのでしょう。小・中学校ともに時間外が長いのはわかりますが、学校の規模による違いがわからないため、適正化が教職員の方のためになるのか判断出来ません。親の立場としては学校が統廃合されることで通学の負担が増加するのは好ましくないと思っています。ただ、この取組により影響が大きいのは児童や教職員だと思いますので、その方々の意見を尊重しつつ、より良い方向に向かっていけばと思います。
	23	今回の内容と相違があるかもしれませんが、小学校の先生が多忙を極めるため、子どもへの配慮にも影響があると思っています。各教科の専科担当やチームティーチングなどを積極的に取り組み、一人一人の子どもへの配慮や信頼関係の構築を優先すべきだと思います。
24	「問3-1:問2でそのように答えられた理由を教えてください。(3つまで選択可)」について、『12.PTA活動等における役割分担などで保護者の負担を分散しやすい』との選択肢がありますが、この設問は、PTAに必ず入らなければいけない流れを感じてしまうので、理解できない部分となります。子どもを安全に安心して通わせたいと思っていますが、近年の物価高により、共働きしなければいけない家庭も増えたと感じます。そのため、PTA自体も、委託するなどの対応を検討していただきたいです。また、小学校が近いと言う理由で、この土地に引っ越してきたこともあるので、このまま維持していただきたいです。	

教育環境 (7件)	25	児童・生徒の数が減少している現状においてクラス数の減少も必然なのだが、学年で40人以上いるレベルであれば、学年ごとのクラス替えが可能な2クラス以上の維持はぜひお願いしたい。具体的には以下に記すが、何より学年が上がり心機一転の時に何の変化もないというのはあまりに味気ない。参考資料P9のQ2において1クラス25人などでは人材、財政の負担増とあるが次の点で理解できない。今の編成を変えるのではなく児童・生徒数の減少に伴い、例えば現状の基準では2クラスから1クラスになってしまうところを2クラス維持する、という考えでは負担増にはならないはず。さらに特定の授業では2クラス(あるいは他学年との)合同授業も可能となり、逆に教師の負担は減るはず。何十年も前の法律にとられることなく、今後、確実に予想される事態に対して(上記の合同授業などの新しい取組を)いざ始める時の現場の負担を減らすために、県なり市なりの行政が独自に新しいカリキュラムの策定などを進めておく方がよほど得策と考える。
通学関係 (8件)	26	統合するに当たって1番不安なのが校舎までの距離や登下校の安全面です。
	27	国の方針で教育面を重視するのは良いが、通学などの安全面を最優先に考えてほしい。→後付けにされそう、児童の安全を一番に考えるべき。
	28	統廃合によって通学の安全面、子どもたちの負担を心配しています。そのような心配がないよう、学校近くに家を購入しましたが、もし、自宅近くの小学校がなくなってしまうたら非常に残念です。子どもたちの意見も取り入れ、慎重に話を進めていただきたいと思います。
	29	子どもの安全性をきちんと確保していただきたいです。学校からの近さなどで家を建てる場所などを考える家庭もあります。「学校が遠くて心配だから」などの理由でもっと過疎化が進むのではないかと考えます。統合は仕方ない部分もあるとは思いますが、子どもの安全性については納得できる形でお願いしたいです。
	30	学校を統合するのであれば通学の負担を一番に考えてほしい。歩いては無理です。学校の老朽化が気になった。子どもたちが過ごしやすい環境にしてほしい。
	31	統廃合はやむを得ないと思いますが、学校が遠くなる場合、スクールバスなどの運用や、学校の始まる時間を遅らせるなど、配慮してほしいと思います。よろしくお願いします。
	32	適正規模・適正配置には基本的に賛成です。ただ、通学時間・距離が長くなるのが心配です。歩いてくるのが難しい子どものためには、スクールバスなど何かしらの対策をお願い致します。また、運動会や授業参観など親が学校に行く機会が多々あるかと思うので、学校の近くに駐車場を確保したり、車が運転できない人のために公共交通機関(バス・コミュニティバスなど)の充実もお願いしたいところです。あと、実際に適正規模・適正配置を実施する時に、例えば小学5年生の子どもが小学6年生に上がるタイミングで学校が変わった場合、小学校最後の一年間を今まで知らない学校で過ごさなければならず、先生も変わってしまった場合、不安や悲しく感じる子どもも出てくるかと思えます。もしそうなった場合、どうか子どもたちに直接どのようにしたいのか聞いてもらい、子どもたちの意見を尊重していただきたいです。もし今まで通った小学校で今まで教えてもらった先生と一緒に過ごしたい、卒業したいと子どもたちが願うなら、どうかそうさせてやってください。よろしくお願いします。
33	学区が広がる場合、規模によってはスクールバスの運行は必須だと思う。	

その他 (3件)	34	個人的には小・中学校の統廃合等は仕方ないと思うし、受け入れるしかないと思っている。一方で、人口減少をそのまま受入れるのもいかがかとは思。先日、平塚、海老名、茅ヶ崎エリアに出掛けて人の多さ、子どもの多さに驚いた。厚木からそこまで離れていないのに、この人の数の違いはなんだろう。住みやすさ。駅が多い。商業施設の多さ。オシャレ。・・・考える余地はありそう。諦めるのはまだ早い気がします。
	35	他の地区は分かりませんが、まつかげ台は古い家屋が取り壊され新しい家が次々と建っているの、今後児童数は減るといより若干増えるのではないのでしょうか。
	36	もし統廃合したら通学路などが遠くなり、子どもに負担、そして大人も心配が増える。できるのなら、小規模のまま、もっと子ども一人一人を見てもらいたい。勉強だけでなくコミュニケーションや人として大切なことを教えてもらいたい。学校が苦手な子などのために、その子が安心して居られる場所を作ってもらいたい。保健室とかでなく、いつでも不安なくいられる場所。誰もが「学校に行きたくない」と思うことがあるが、それは決して悪いことでなく、そんな風に思うことは大人にだってある。そんな時でも温かく迎えてくれる場所。そんな場所がほしい。学校が苦手で行けないお子さんがいる。給食も食べたいのに、雰囲気では食べられない子もいる。教室でなければ行けるけど、行ける通級などは日にちが決まっているし...なにかと手続きがありすぎる。今子どもたちは悩んでいる。そして大人も一緒に毎日悩んでいます。もっと柔軟性をもってそんな子たちの支援に力を入れてもらえたら助かります。よろしくご願ひ致します。長文失礼致しました。

※区分「地域づくり・地域コミュニティ」は該当なし

③ 地区住民(回答数:71件)

回答区分	No	回答内容
取組の考 え方・進め 方・スケジ ュール (37件)	1	現実的な対応が大事だと思う。
	2	統廃合があるならば、一部の人だけが大変な思いをするのはおかしい。地域の全体での学区決めの調整をしてほしい。(一部の地域の負担が大きくなることを押しつけないでください。)
	3	適正規模・適正配置への取組には賛成。既に何年も懸念されてきたことが現実となっている中、早急に解決すべき。児童・生徒数に対する先生の数や業務負担も適正になると思うし、雑務が減れば児童・生徒にかける時間も多くなり、彼らにとって良いことである。適正配置の方策「スクールバス導入」は特に賛成。公共交通機関利用については、子ども料金+通学定期になると思うが、さらに補助金も必要ではないか。児童・生徒の利便性や安全性を確保し、子どもたちに不便を押し付けないようにしたい。そしてこれを機に設備や人など学校の質をできるだけ高めてほしい。今までも荻野の子どもたちは、家庭や学校、地域によって、人として豊かに育てられている子が多い。これを好機と捉え、更なる成長につなげていただきたい。
	4	学校は子どもの成長にとって大事な場所です。通学が大変になるような統合はやめてほしいです。規模を小さくした学校で適正配置して、子どもたちが通いやすい学校にしていきたいです。
	5	小・中学校の児童・生徒は将来的にも学校が廃止されることは望んではいないと思うので、どうしたら維持していけるのか皆で考えていきたいと思う。
	6	将来を担っていく児童・生徒への対応が最優先と考えます。一方でお金や先生方の大きな負担などの問題点も多々あることも聞き及んでいます。バランスを取りながら最大限の効率化を図っていただきたいです。
	7	上の子の時と下の子の時では、あきらかに生徒、児童数が少なくなっている。クラス替えのない学年もある。「クラス替えがない」のは、良いこともあるが、友人関係に恵まれなかったら「つらい6年間」を強いられる可能性もある。しかし、先生の目が行き届きやすく、良いこともあると思う、少子化が進んでいるので荻野地区の問題だけではない。ある程度の統合は必要であると思う。
	8	地域の特性を考慮し、また、統廃合を行った場合の通学距離等は、検討に取り入れてほしい。
	9	「環境が人をつくる」という言葉のとおり、少子化が進む中でも、子どもたちを取り巻く環境を1番に考え、毎日楽しく通学できる学びの場を与えてあげることこそが重要だと思います。
	10	そもそも過去どのような児童数/学級数を想定しており、それに対して現状がどうなのか。想定から何が変わったのか。誰がその判断をしたのか。このギャップを明確にすべき。国への働きかけはOK!!もっと声を大にして市民へもアピールすべき。
	11	小学校1学年当たり2クラスあれば、2人の先生で1学年を見ることが出来るが1クラスだと先生も忙しくなるとかあるかもしれませんが、そこは1クラスでも子どもたちは、その面のメリットもあるので1クラスでも維持した方が良いと思います。地域で統合した場合の一番の心配事は、小学校低学年の通学の問題が大きいと思います。難しい問題ですが新しい道を考えなければならないですね。
	12	人口減少予測をもとに人口重心と通学時間とのバランスで統廃合を進めてほしい。校舎新設に当たり、地域住民の活動スペースを考慮願います。

取組の考 え方・進め 方・スケジ ュール (37件)	13	児童の通学の負担が増えないように、規模が小さくなくても、小・中学校は統廃合せず、維持されるべきと考えている。規模が小さいなら小さいなりに、運営内容を変更していけば良い認識。
	14	前提として児童・生徒に安全と教育を供給する場が学校です。統廃合することに対し、それらが少しでも損なわれるのはあってはならないと考えます。1番に生徒にとってこの学校に通って良かったと思われるような学校づくりが必要になるわけです。また、児童・生徒減少はこの地域に限らず、全国的に問題となる課題です。そちらは目に見える形で少子化対策や移住者増加を目的とした対策でまず力を入れるべきだと考えます。先生の労働環境問題に関しては、職場での「無駄」を無くすべきです。知り合いに聞くと、紙の書類を何度も回していたり、他にも多くの無駄があり改善するところだらけだと聞きました。時間という数字だけにとらわれず、まずは職場の実情を把握するところから始めるべきだと考えます。
	15	小学生の場合、徒歩通学を前提とするならば3kmは遠すぎる。2km以内が望ましい。
	16	通学の安全確保を最優先に、統合はやむを得ない選択だと思います。若者が厚木市から出ていかない政策を望みます。
	17	皆が自分たちの地域に学校は必要と思うが、経済的なことなども踏まえて感情論だけで解決しないようにしてほしい。
	18	学区を統合することと、学校を統合して建物を減らすことは違うと思います。子どもたちにとっては、日頃接する友達が多いた方が人として大きな成長につながると思います。建物自体は学校としての機能以外でも、いろいろなコミュニティとして使い道があるので維持すべきだと思います。但し、維持費もかかるので、どうすれば100%有効活用できるかをきちんと検討しなければならないと思う。
	19	全てを予算ありきで論ずる必要はないが、県、国のレベルとの差異について案内し、各種アンケートも、それらを含めて推移を周知し、各人が理解できるようにすべきだと考えます。
	20	上荻野小学校、鳶尾小学校→荻野小学校に来るようになればいいと思います。
	21	もし統廃合の場合は、立地的にみて荻野小学校と上荻野小学校が存続というのが妥当だと思います。現在、鳶尾小学校区の児童は荻野小学校に十分通学できる距離です。
	22	これから小学校・中学校に入る子どもを持つ親としては、このまま残ってほしいというのが願いです。子どもが少なくなっている。(学校の空き教室等を「老人ホーム」みたいにして使用する等)本厚木にもっと出やすくしたら、もっと人がくると思う。
	23	図書室を地域の人に開放する。調理室で地域の人たちが簡単な教室を行う。児童にとっては、見守り的な役割を果たせるし、また、児童の心の成長にも有効だと考える。
	24	1. 小学校低学年は、昔の上下分校なども検討してはどうか。通学にスクールバスなども検討。2. 共働き家庭が多いことから、学童保育の充実が必要だと思う。
25	小中一体型施設に賛成。学校の統廃合 etc を実施する場合、吸収された学校の生徒の通学距離が長くなるので、路線バスを利用できる学校と統合できることを望む。(バス料金の補助などを考える)	
26	小学校の廃止については反対です。中学校は、統合するなら、スクールバスを運行してください。ただし、帰りの便は、3つ位時間帯を用意してください。少ないと逆に弊害が出ると思います。人気の小中一貫校を整備するのはどうですか。	

取組の考 え方・進め 方・スケジ ュール (37件)	27	自宅から近い場所に幼稚園、小学校、中学校があるということで現在の土地に引っ越してきました。そのため、統廃合によって学校が遠くなってしまう可能性があるのであれば反対します。	
	28	鳶尾に最初から住んでいる者です。鳶尾1～5丁目の中に、小・中学校を1校ずつ残していただきたい。現在は、高齢者ばかりですが若い方たちも少し増えてきて、学校や公共施設が充実していれば、安心して住んでもらえるのではと思います。子育てにはとっても環境の良い所です。	
	29	規模・配置ともに、小学校においては、低学年(特に1年生)と高学年の体力差や安全面など考慮すべき。自宅から遠くなる場合、スクールバスなど検討すべき。令和7年度に35人学級となっても、まだ多いと感じる。ここでも小学校低学年などは、別に望ましい学級編制を考えてクラス数を決定してほしい。統合しても教室数はあると思うし、教員も統合後も確保できるのではないかと。学校の統合と教員の労働問題は一緒に考えるべきではない。各学年1学級などになるなら、行事(運動会など)は地域の学校合同で行ってはどうか。	
	30	市立小・中学校の統廃合により、荻野地区には1校のみとなった場合は児童の通学時間の負担や精神的な負担が増え、のびやかな学校生活ができない可能性があることから統廃合には反対です。	
	31	小学校でイジメにあったり、親に話せなかったりすることがあるため、中学校は、指定される学校以外も選択できるとよい。	
	32	あくまで個人的な意見になりますが、駅から近い学校より、地域の中心地あたりの学校を残すべきだと考えております。理由は治安の問題です。駅近くは欲望を満たしやすい場所ですので、子どもたちは30代～80・90代の世代が多く住む場所の近くから登下校すべきです。私の住んでいる近くには、70代くらいのおばあちゃんが無料で野菜を持ってついでといいよと台車の上の貼り紙に書いてあり、台車に野菜が入っていて「こんな良い街に住んでいたんだなあ。」と感じました。	
	33	子どもが6年間通えない場合、卒業アルバムや、修学旅行などの面で、子どもに不利益にならないようにしていただきたい、又、スクールバスなどの問題がある中、取り残しなどの事故が起きないことも考慮してください。運動会などで遠方になってしまう人へは、車での来校も検討してほしいです。(授業参観など学校行事も)	
	34	もし統廃合するのであれば、入学した学校を卒業できるよう配慮してほしいです。	
	35	統合した結果1クラス40人以上になるのは望ましくないと考えます。	
	36	統廃合は必要と考えるが、子どもだけで登下校が困難となった場合、保護者の働き方を変える必要があることが懸念される。	
	37	駐車場を整備してほしいです。再編成して校数を減らすならば、選挙などで学校へ行くために車を利用する必要性が高まりますので。	
	教育環境 (6件)	38	縦割り教育の機会が増えると良いと思います。
		39	令和7年度には、全学年35人編制となる見込みとのことだが、小学校低学年は、30人編制を目指してほしい。
40		適正規模は必要と感じますが学力向上やコミュニケーションにつながる少人数制のクラスへの取組も大切だと思います。	

教育環境 (6件)	41	地域学校協働活動の推進が叫ばれる中、地域の子どもは地域で育てるという視点が大変大事なことと思われます。そうした流れの中で、学校が地域の拠点として果たす役割は大きなものがあることを考えると行政区内に最低でも1小・中学校が必要という基本的な考え方に立って適正規模・適正配置の取組を進めてほしい。
	42	「未来を担う人づくり」良い理念だと思います。全国的に最大の課題は教職員の多忙、オーバーワークかと思ひます。その中で、厚木市の特徴的な改革、取組を考えるべきです。教員は教えることに専念、教科以外の人づくりや支援は専門職員に任せるなどのほか、地域と一体化した取組は考えられないでしょうか。児童・生徒が減少するから統廃合という発想には反対します。
	43	担任の負担が大きすぎる。それゆえ、生徒1人1人に目が行き届かず、子どもたちは、自分を分かってもらえないなどと思ひ込み、心を閉ざして、不登校が増えるのでは。もっと、先生にゆとりを持たせて、事務的ではなく心から接してもらえたらと思ひます。少人数のクラスになると、目も心も行き届くと思ひます。
通学関係 (10件)	44	通学距離の問題
	45	児童・生徒の登校に掛かる時間や安全面を考慮してあげてほしいです。
	46	児童たちの通学の安全面や距離を最優先すべきですが、防災面に関しても、避難場所までの距離など、年配の人のことを考え慎重に検討していただきたいです。
	47	児童・生徒の健康、安全面(通学距離は通学区域が広がれば長くなりますよね。)には十分配慮していただきたいです。
	48	どの小学校を残すにしても、遠方からの通学になってしまう児童が出てしまうのではないか。スクールバスや駐車場を整備するなど、近隣住民の理解も必要となるでしょう。
	49	小学校を統合するのだとしたら、一番環境の良い場所で、通学時の安全を確保できるように、通学バスなどを考えてほしい。3校だけでなく、三田小学校の棚沢など、通学区域を変更する方法もあると思ひます。
	50	通学に片道30分以上徒歩で掛かる場合はどのように考えるかのか。サポート等が必要と感じる。コミュニティバス、タクシーチケット etc
	51	市立小・中学校の統廃合による遠距離通学者に対して、通学のアクセスを充分に考慮してほしい。
	52	小学校が統合された場合、児童の通学距離が長くなる地域も出てくる。それに伴い通学時間も今より掛かる場合もあるし、交通事故に遭う確率も高くなる。資料にもある通学負担軽減策に加え、通学に公共交通機関(路線バス)を利用した場合における補助金の支給も検討していただきたい。
	53	現状より児童・生徒の通学距離が長くなった場合は、スクールバスなどの手段を考えるべきである。(小学校を統合した場合)。自由に使える広場が少ないため、校庭や余裕教室を地域住民に開放し、健康・文化の場所とすることを望む。
地域づくり・ 地域コミュニティ (5件)	54	学校教育の適正な場として維持される必要があると思ひます。また、児童の減少に関係なく、地域社会の文化や芸術などの地域のコミュニティとしての役割を学校に担ってほしいと思ひます。また、児童の育成場所だけでなく、親御さんの相談事や地域社会の問題について話し合う場としても活用できたら良いと思ひます。

地域づくり・地域コミュニティ (5件)	55	今後児童・生徒数が減少していく中、学校の維持管理、そして地域・まちづくりのために、例えば図書館の整備など、地域コミュニティ施設として考慮していただけたいと思います。
	56	児童、生徒数が減少している旨は理解できるが、小・中学校は、学校としての役割の他、防災拠点としての役割もある。学校がなくなると、高齢者の避難の際の負担も大きくなるため、現状を維持すべきと考えます。
	57	小学校の統廃合については聞いています。市の運営においてやむを得ないと思いますが、廃止される学校の関係者・地域については丁寧な対応をお願いしたいのと、跡地利用も必ず行ってください。
	58	今後仮に少子化に伴う統廃合が行われた場合、防災公園のような施設として残すべきと考えます。子どもの遊び場や地域のコミュニティを広げる場として、また、避難所や貯水槽といった安全な場所として今後も活用する必要があると思います。しかし、維持費や大人も含む人口全体の減少についても加味しなければ、校舎を再利用する意味が失われるかと思えます。
その他 (13件)	59	児童数の減少は少子化社会において避けられないものですが、子どもを増やす、若者を定着させる取組も重視すべきと考えます。ご認識の通り、荻野地区は交通の便が悪く、車が必須となっています。そのような状況の中で、例えば小学校を1つ減らすなどすると、子どもの移動距離が長くなり、地域ボランティアや保護者が通学を見守る必要が出てきますが、共働き世代が多い+交通の便が悪いので労働者の通勤時間が長い(少なくとも、駅前に行くだけでもバスで30分以上掛かる)ため、地域の活動に時間を割けない事態も起きています。スクールバスを整備する、電車を開通させる、バスの本数を増やす(運賃を下げる)など、子どもと保護者の負担を少なくすることで、今後も住みたい、移住したいと考える人が増え、子どもが将来的に増えることも考えられると思います。小学校の建て替えにおいても、あまり狭すぎたり、見通しが悪い、小さい場所などを候補地とするのではなく、子どもを集めても大丈夫そうな場所を優先すべきと考えます。少なくとも荻野小は他2校に比べて小さく、周りが暗いので優先度が低いと思います。いろいろ書いてしまいましたが、私はこの地域で育ったので、できればどこもくなくはないですし、もっと子どもと大人が増えて活性化してほしいと思っています。ですが、自分が働くようになってから、ここは住むだけ。子どものためであれば良い場所ですが、共働きの子育て世代にはとても不便です。車の維持費もバカになりません。取組は老人向けばかりです。子どものため、働く世代のために、今一度全体的に良い方向に向かうよう頑張してほしいです。

その他 (13件)	60 問7について、「地域内の全ての小中学校が維持されること」は、学校施設の維持管理に関わる経費(以下、経費)との兼ね合いと考えられます。昭和60年の児童数・生徒数のピーク時から考えると、児童数・生徒数1人当たりの経費が、現在では2倍程度になっているものと考えられます。一方、厚木市の人口が減少せず増加しているため、市民1人当たりの経費は減少しています。子どもがいない世帯・家庭が、経費を認めるかどうか、本件における重要な要素と考えます。このことを、本アンケートに明記して、問うべきと感じました。私においては、子どもが生まれる予定ということもあり、経費を認めますし、全ての小・中学校の存続を希望します。仮に、子どもがいないとしても、維持はすべきと考えます。人口減少を予測せず、国に働きかけて、人口減少を食い止め、増加にもっていくようにせねばならないと考えます。人口減少の原因は、国の施策がなされていないこと、経済成長政策がとられていないこと、低所得世帯の所得増のための施策がなされていないこと、ひいては、財務省の緊縮財政が原因です。人口が減少すると誤解せず、嘘の説に騙されずに、人口増加を目指すべきです。
	61 維持のために多大な経費が掛かるようだったら統廃合が必要だと思います。廃校となったら老人用の施設として考えたかどうかと思います。
	62 荻野地区ということで私のところにも調査がきましたが、私のところは三田小、睦合中学区となります、単に住所でなく、学区にもとづいて調査を行った方が今ある学校に対する評価、対策がしやすかったと思います。(現学校をどのように配置していくかというアンケートかと思いますので)
	63 40年位前、母の時代、小学校が1ヶ所だったのが2ヶ所に分けられたのは、思い出としては辛かったみたいだが、逆に一緒になるのは良いと思う。
	64 自分の子どもが小学校にいた時、プレハブ校舎に入れられてマンモス校がいやでした。小学校時代にはあまり良い思い出はありません。
	65 独り言では有りますが私には、障がい児とはいえないグレーゾーンに属する子ども(孫)がいました。どちらとも言えないくくりの中、本人も苦悩していたと思いますが、周りの大人に「もう出てくるな」と言われ、家族ごと参加することもできなくなりました。家の中だけでは子どもを育てるのは難しく、出来れば地域での活動への参加を希望します。
	66 保護者としてもこのアンケートを受け取り回答しました。同じ人に2回もするのはアンケートとしてどうなのかと思いました。もう少し有効なアンケートのとり方をしてはいかがでしょうか。
	67 ・厚木市が住みたい町の上位に入っている・仮設老人ホームや仮設1日2,000円のアパート・トレーニングルーム、老人体操などの運動・駐車場(放課後限定)・トイレや待機所の開放(放課後限定)・スマホで予約できる体制づくり・休み限定で売店の利用
	68 まつかけ台は、何か事故があっても避難所としても無理だと思います。
	69 歴史ある学校は残していただきたい。
	70 厚切りジェイソンのように海外からもエンジニアに就職してもらい、ロボットバレー荻野地区に住んでもらい、人口を増やし、出産数を増やして学校を増やすべき。
	71 小・中学生が通学の時に元気なのは良いですが、あまり騒ぐとうるさくなるので、その辺りを学校で教えておいてほしい。

### 3. 自由記述欄

#### (1) 設問(2)で「適切」「おおむね適切」と回答した理由について [その他選択理由]

##### ① 児童の保護者(回答数:4件)

No	回答内容
1	クラスを多くして、生徒数が少ないと、いじめなどが発生した時に孤立する可能性がある
2	仮に1クラスしかなかった場合、いじめが起きると逃げ場がなくなるため
3	自分たちが適正規模の範囲内で学校生活を送り、豊かな学校生活だったから
4	クラス替えがあった方が、気持ちが楽になると思うから

##### ② 未就学児の保護者(回答数:1件)

No	回答内容
1	今までがそうだったから、自分の基準でしか考えられないが、自分の小・中学校では問題なかったのでは良いのではと思う(としか言いようがない)。可能であればもっと少人数で先生の目の届く方が良い気もするが比較対象がないため一概には言えない。

#### (2) 設問(2)で「あまり適切ではない」「適切ではない」と回答した理由について [その他選択理由]

##### ① 児童の保護者(回答数:5件)

No	回答内容
1	学級数よりも1クラス当たりの生徒数を定めるべきだと思います
2	もっと子ども目線で考えてほしい。どんな環境でも、子どもたちは順応していく。選択肢は、全て大人目線である
3	適正規模が適正だと示す根拠がない
4	地域によって環境が違う中、適正規模の考え方に合わずと自分が無理のように思える
5	生徒数が増えすぎるとトラブルも増えると思う

##### ② 未就学児の保護者(回答数:2件)

No	回答内容
1	この制度や考え方が教職員含む大人の都合優先であり、児童・生徒を最優先に考えたものではないため
2	適正規模という意味合いを捉えることが難しいが、今ある児童・生徒数で成り立つ学級数が適正規模だと思います。適正規模を定める必要があるのでしょうか

**(3) 学校規模適正化の検討に当たり重視すべきことについて [その他選択理由]**

① 児童の保護者(回答数:8件)

No	回答内容
1	学校が変わることによってそれまで築き上げた友人関係が失われることは望ましくない
2	在学途中(小5、小3など)での統廃合によって環境が変わることへの精神的不安やストレスが心配。登校拒否などにつながらないように、卒業まで区切り良く在校したい気持ちもある
3	通学の距離など
4	学区にとらわれず、行きたい学校へ行く、または、オンライン授業も選択できるようにすべき
5	子どもたちのための予算を、減らすべきではない。金ではない子どもたちの未来を、もっと考えてほしい
6	教員数が足りないなどの状況から方策を策定するのではなく、児童や生徒が適切な教育を受けられるにはという面から議論してほしい
7	児童・生徒の数が減るからといっても、厚木市以上に少ない児童・生徒の学校が全国にはもっとたくさんあるので、統廃合に必ずしも必要性は感じない
8	統廃合の時、年度が変わる時に行ってほしい。子どもの負担にならないように

② 未就学児の保護者(回答数:0件)

《意見無し》

**(4) 過去1年間に市立小・中学校にどのような理由で行ったか [その他選択理由]**

① 地区住民(回答数:4件)

No	回答内容
1	入学前健康診断で
2	散歩
3	用事がないため行ったことがない
4	放課後児童クラブの支援員をしている

**(5) 学校教育以外で学校が担っている役割等として重要なものについて [その他選択理由]**

① 地区住民(回答数:0件)

《意見無し》

(6) 学校規模適正化に当たり、教育環境の充実以外で考慮すべきことについて [その他選択理由]

① 地区住民(回答数:7件)

No	回答内容
1	ロボット特区をいかして荻野地区を開発、企業誘致して子どもを東京から取り戻す
2	減少見込みなのは肌で感じていますが、そこを減らすことを考えるのではなく、地域を活性化することも考えていただきたいです
3	生徒が減少し、空いた教室を使って、近隣の人が利用できる施設にする。(公民館のお教室や茶話会など。→児童にとっても近所の目があることで良いのでは
4	選択肢8の理由が主です。よくわかりません
5	小中一貫化
6	通学区域の再編の際には、児童・生徒の通学時の安全性を最優先して考慮して欲しい
7	40年前(荻野小、上荻野分校、荻中各1校)にもどすべき